

塘研究室現地調査報告

5月27日と6月11日、裏磐梯の中瀬沼自然探勝路、レンゲ沼自然探勝、桧原湖畔自然探勝路、ニチレイ社有地（6月11日のみ）に美麗昆虫（チョウ、トンボ、ハムシなど）の撮影に行ってきました。5月27日はヨツボシトンボの羽化最盛期で、レンゲ沼では羽化前、羽化途中、羽化直後の個体が多数見られました。6月11日はニホンカワトンボやサナエ類の羽化開始時期で、未成熟個体が多数見られました。チョウはコムスジしか撮影できませんでしたが、スゲハムシの青色型、銅色型を撮影できました。また、福島県からは初記録となるヤチトビケラ（トビケラ科）の生息を確認することもできました。



羽化して翅が伸びきったヨツボシトンボ



羽化直後、体色が明瞭になったヨツボシトンボ



羽化直後と思われるエゾイトトンボ



胸部がメタリック・グリーンのカラカネトンボ



幼虫は止水性のコサナエ（前胸の黄色紋がダビドサナエとは異なる）



幼虫が流水性のダビドサナエ



ニホンカワトンボ♀



ニホンカワトンボ橙色翅型♀（未成熟）